

神示

(※友和会館建物の清めの儀に当たり、表された神示)

「神魂の時代」を迎えて

今^{今日} 人類は 「運命」重ねて人生歩む

「真実 真理」を手にせんとしている

「友和会館」の完成をもって

教会は 「真理」通して

世^{世界}を救う時^{時代}を迎えたのである

時代 時代が導く歴史の中に

人類は 「真理」を見ても 「悟り」につなげず

知識に流れる時^{時代}を重ねて 今^{今日}がある

「真実の光」^{みち}を極めて 今こそ

神示教会 「友和の真理」に悟りを深め 世^{世界}を救う

友和—— 「道の真理」に生きる人心^{じんしん}を育むために

欠くことならぬ会館^{環境}と申す

「運命」と「運命」が寄り添い 重なり合って

世^{社会}は極楽環境へと流れを変える

皆^{信者}に申す

神の教え「真理」を 我が「心」^{人生}の悟りとなげ

神^{神魂}の手の中 喜び多く

楽しい人生を手にする人^{信者}であれ